

高い目標とチャレンジ精神を！

いよいよ 4 月に突入した。4 月は「事初め」として、また新学期や新事業年度といった形新しい事が始まる予感のする時期だ。街も少しだけ明るさを取り戻した感覚だ。しかしながら、景気回復の兆しは未だに見えず、特に中小企業においては景況感の好転を感じていないというのが本音だろう。

それでも大企業、とりわけ製造業の勢いは回復しており、希望の持てるニュースも多くなってきている。高校無償化、子供手当など消費への刺激策が次々と施行されてくれば、ムードもあがってくるはず。まだ製造業以外の業種は体感できていないものの、この回復基調の前に一步でも「アドバンテージ」を持って突入したい所。今、しっかりと準備しておく事が重要だ。

ポイントは「目標」だ。といっても現実不可能な努力目標ではなく、必ず達成する「必達目標」を掲げる必要がある。東京都は国が取り組む前に CO2 排出枠に関して「総量規制」を設定し、明確な目標を掲げて世界にアピールしようと企図している。環境技術はご存知の通り、長期戦略でみると日本の成長戦略に欠かせないファクターだ。民間企業の反発はあれ、太陽光パネル設置、LED 電球の活用、断熱材の改良による建築パネルの開発、風力電力の効率活用等、そこには日本の最先端技術が詰まっている。

つまり厳しい目標には「厳しい取り組み」と「強いチャレンジ精神」がなければ達成しえないし、改善に対するスピードも上がってこないというものだ。この「マネジメントスピードを高めていく」事を優先に、取り組むべきだと思われる。

具体的には計画と実績の差異分析が基本だ。そして、目の前の問題を解決するために、解決する策を講じるスピードを早めるだけでいい。そしてまた、そのアクションを振り返る事だけで良いのである。考えるスピードと行動するスピードを上げるには、強い気持ちを持ち続けるモチベーションとなるものを見つけるべきだろう。それが、企業の戦略であり、コンセプトであるならば言う事はない。後はただ実行あるのみである。